



owner's manual



MOTIVE POWER

お客様へ

この度は PGO SCOOTER TIGRA125 をお買上げ頂きまして誠に有難う御座います。

商品に添付されている取扱説明書は英文で作られております。

従って、簡単では御座いますが、機能及び取扱い方法について説明している箇所を日本語にてご理解頂ける様、本書を作成いたしました。

乗車される前に必ず本書をお読み頂けます様お願い致します。

本書内で TIGRA125 を機種記号 AF-125BAE と、4stroke エンジンを(4T)として標記されます。

不具合等でお困りの場合は、お買い求めの販売店様へご相談ください。

PGO 日本代理店

**NOVEL
FORCE**

内 容

安全に運転する為の注意点・・・2	乗車する際の注意事項・・・・・・22
各部名称・・・・・・・・・3	エンジンを始動・・・・・・・・・23
車体識別・・・・・・・・・4	暖機運転・・・・・・・・・23
シャッターキー操作方法・・・5	スクーターに乗るにあたって・・・24
メーターインジケーター・・・6～10	ブレーキ操作・・・・・・・・・24
ハンドルスイッチ操作方法・・・11	エンジンの慣らし運転・・・・・・25
ハンドルロック・・・・・・・・・12	駐車・・・・・・・・・25
シートロック・・・・・・・・・12	定期点検・・・・・・・・・26
フューエルタンクキャップ・・・13	定期点検スケジュール・・・・・・26・27
盗難防止スイッチ・12V電源・・・13	エキゾーストコントロールシステムのメンテナンス・・・28
ラゲッジボックス・・・・・・・・・14	エアクリナー・・・・・・・・・29
運行前点検項目・・・・・・・・・15	プラグの点検・・・・・・・・・29
ブレーキ・・・・・・・・・16	ギヤオイル交換・・・・・・・・・30
フロントブレーキ・・・・・・・・・16	フロントブレーキ点検・・・・・・・・・30
ブレーキフルード・・・・・・・・・16	ブレーキフルード点検・・・・・・・・・31
冷却水量点検・・・・・・・・・17	フロントフォーク点検・・・・・・・・・31
エンジンオイル量点検・・・・・・18	ヒューズ・・・・・・・・・32
エアクリナー・・・・・・・・・19	バッテリー・・・・・・・・・32
タイヤ・・・・・・・・・20	主要諸元・・・・・・・・・33
スロットルグリップ・・・・・・・・・21	定期点検記録簿・・・・・・・・・34
スイッチ類・・・・・・・・・21	配線図・・・・・・・・・35
燃料・・・・・・・・・21	保証書・・・・・・・・・36・37
触媒・・・・・・・・・22	保証登録書・・・・・・・・・38

安全に運転する為の注意点

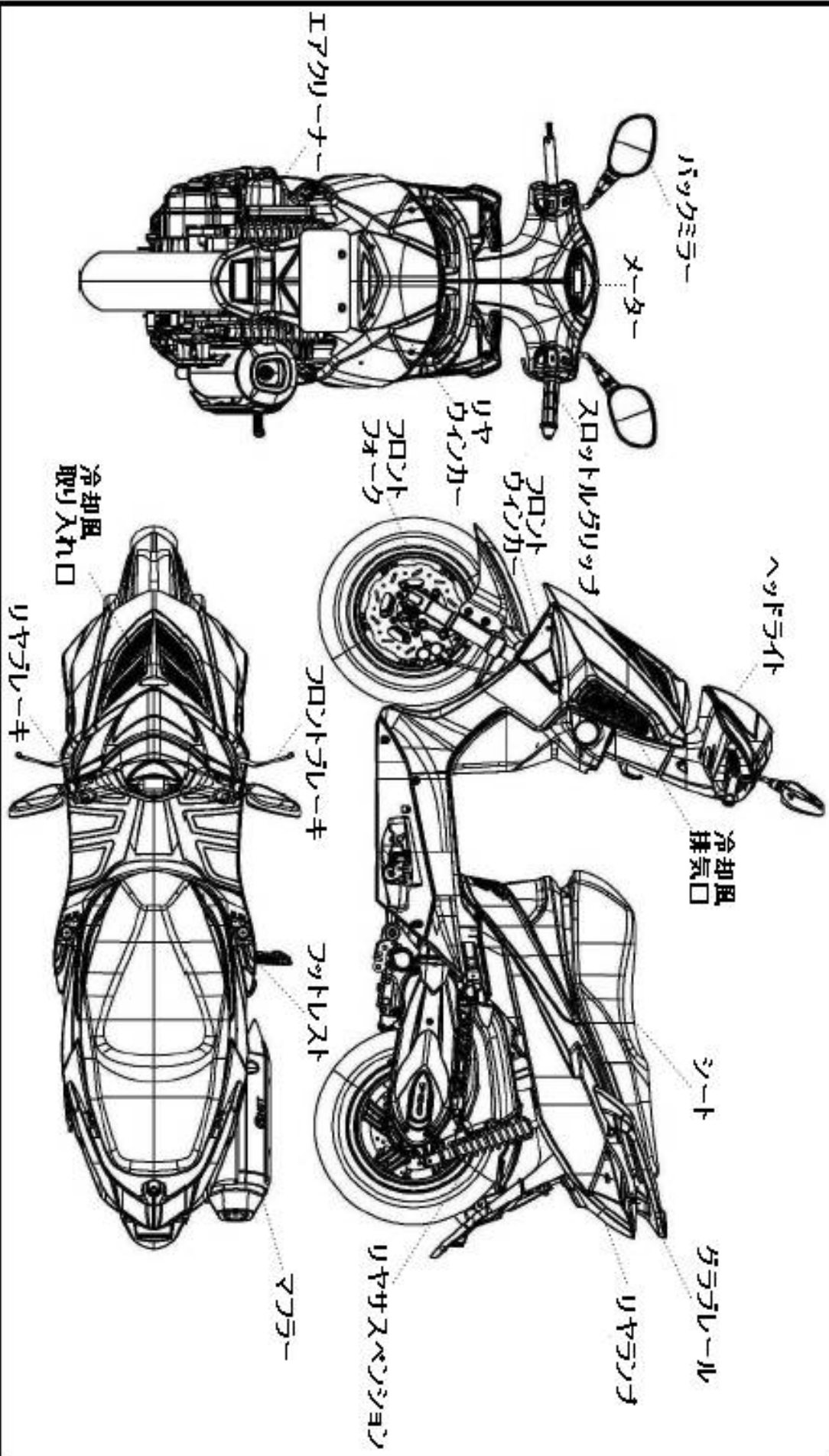
▲ 警告

運転時は十分な余裕を持ち、以下の用件に留意する必要があることを予め了解下さい。

安全運転のために

- 1 運行前点検は必ず実行し、修理が必要であれば修理をしてから運行してください。
- 2 多くの事故は経験の少ないライダーに関係します、慎重に運転しましょう。
- 3 乗車時は運転操作を妨げない服装で、明るい色の物を着用しましょう。他の運転者の死角に入らないようにしましょう。
- 4 交通法規を遵守してください。過度な速度は事故につながります、速度は控えめにしましょう。
- 5 他の交通に迷惑を掛けない様に気を付けましょう、交差点や駐車場の出入り口等は特に注意が必要です。
- 6 乗車時はハンドルをしっかり持ち、足はステップボードに乗せ、正しい姿勢で乗りましょう、後席に乗車させる人はステップに足を乗せ保持してください。
- 7 エンジン을掛けたまま車両から離れないようにしてください。
- 8 悪路を走行する時はスピードを落とし、強い衝撃を受けないよう操作してください。

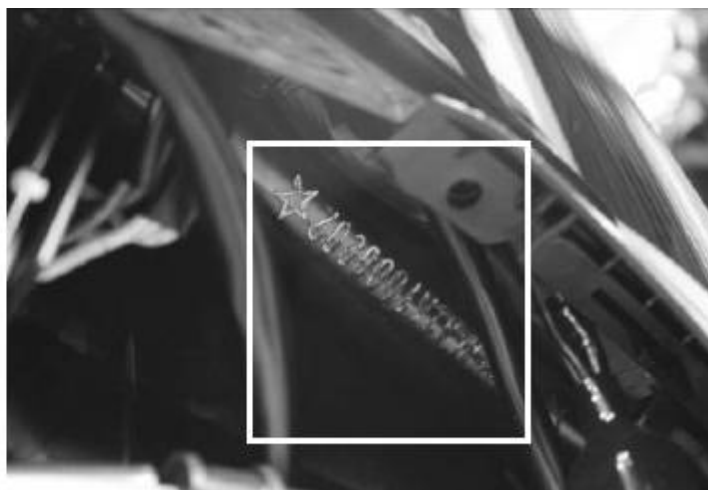
各部名称



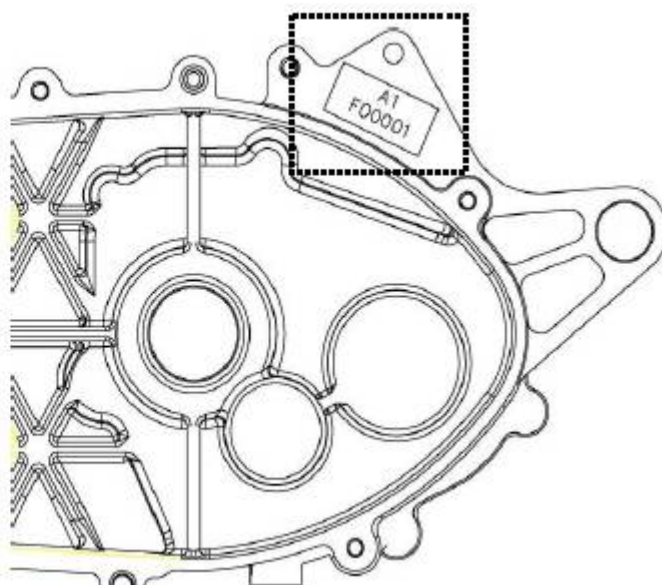
車体識別

車体を識別する為にフレームナンバーとエンジンナンバーがあります。

1. フレームナンバーは右側のサイドカバー内のフレームに打刻されています。



2. エンジンナンバーはベルトケース後端部に打刻されています。



※ フレームナンバー及びエンジンナンバーは部品の注文時に必要なだけでなく、盗難等に遭われた時に車体識別の為に必要です、メモなどにして保管されることをお勧めいたします。

シャッターキー操作方法

1. シャッターの閉め方。



開いている状態



シャッターを指で閉める

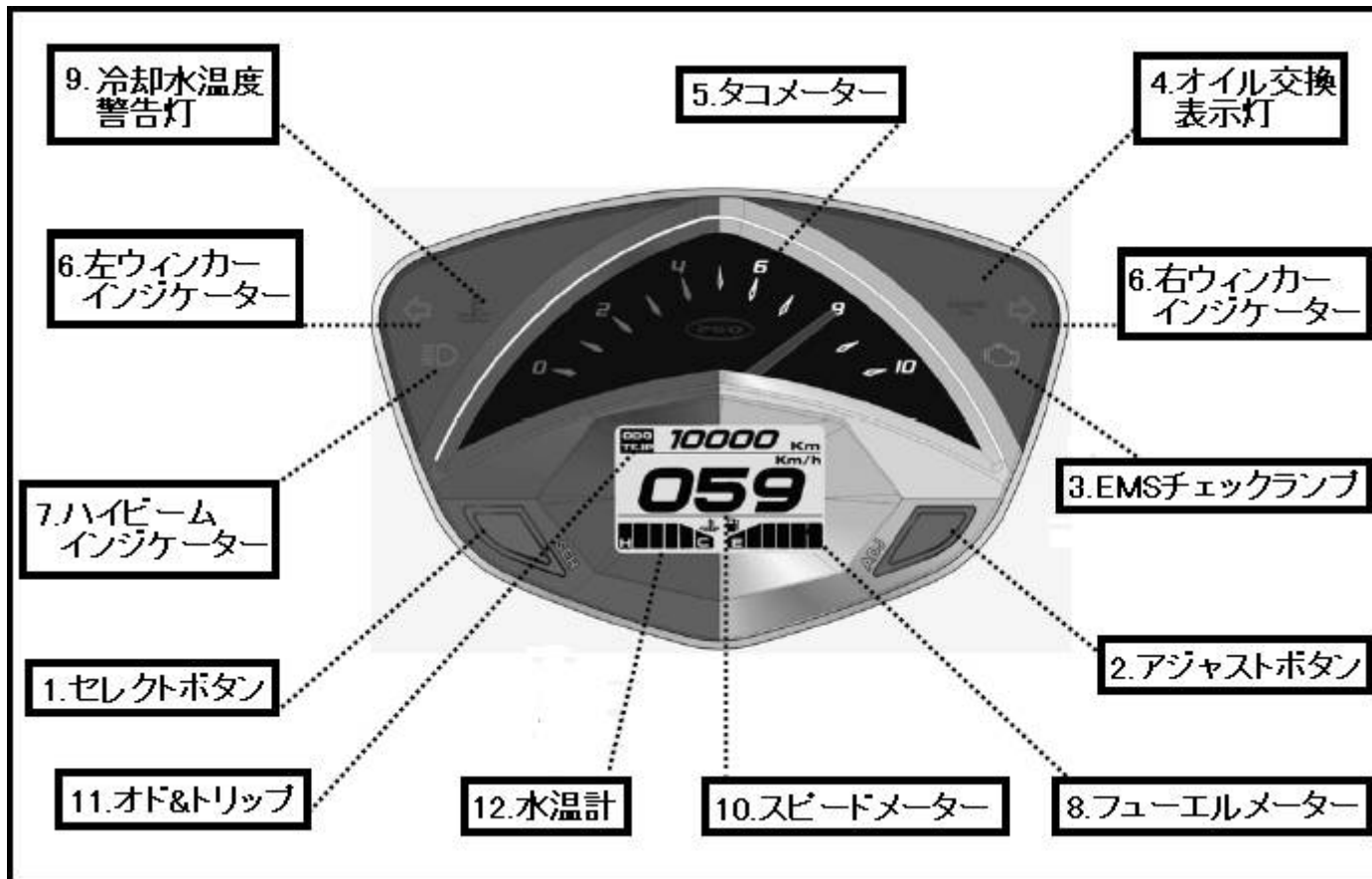
2. シャッターの開け方。



握り部分の突起部を使い



鍵穴下の溝にはめて時計回りにまわす



1. セレクトボタン

2. アジャストボタン

3. EMS チェックランプ EMS の状態を点灯状態で表示します。

4. オイル交換表示灯

オイル交換時期に点灯します、オイル交換後表示解除を行ってください。(解除方法はP7 参照)

5. タコメーター 現在のエンジン回転数を表示します。

6. ウィンカーインジケーター 作動している側のインジケーターが点滅します。

7. ハイビームインジケーター (ブルー) ハイビームとパッシング使用時に点灯します。

8. フューエルメーター ガソリン残量を表示します 1 目盛りになったら直ちに給油して下さい。

9. 冷却水温度警告灯

冷却水の温度が高温になったときに点灯します、点灯した場合は直ちに走行をやめてエンジンを止めて下さい。エンジンが十分冷えてから再始動して下さい。

再度この警告灯が点灯する場合はお買い求め頂いた販売店または PGO SCOOTER 取扱店にご相談下さい。

10. スピードメーター 速度を表示します。

11. オド&トリップ 積算走行距離(オドメーター)と区間距離計(トリップメーター)の表示です。

12. 水温計 現在の水温を表示します。

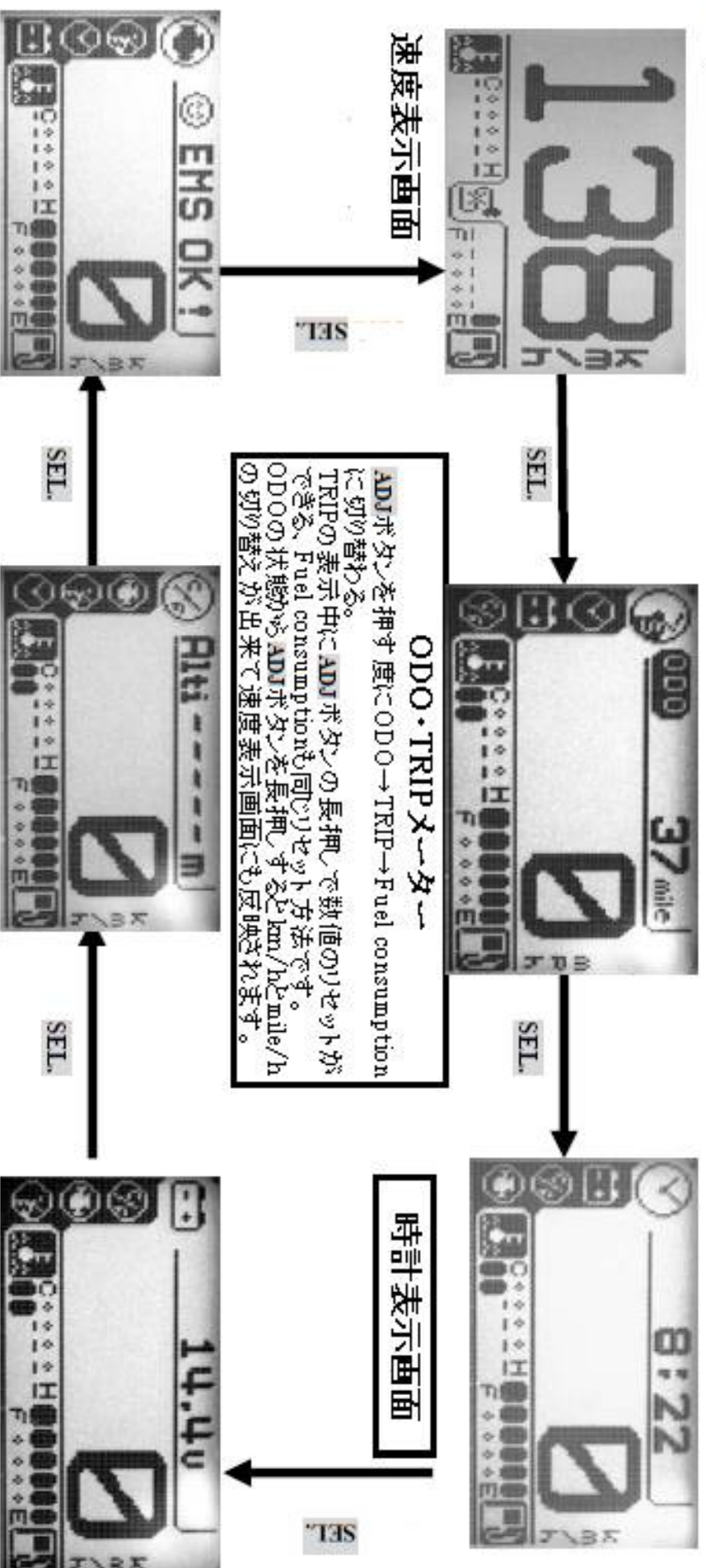
※デジタル表示部は多機能を装備しています、次ページ以降の操作方法を参照願います。

SELECT・ADJUST ボタン表示及び操作方法

モード \ 機能		key	表示	SEL.	ADJ.	結果
ベーシック モード	スピード	ON	車速	押す		odo
	距離計表示	ON	odo / TRIP / ϕ (Km/l)	押す		clock
	クロック	ON	clock	押す		voltage
	電圧	ON	voltage	押す		高度計
	高度計	ON	altitude	押す		Engine check
	EMSチェック	ON	EMS OK!	押す		speed
速度表示		ON	km	押す		距離計
距離計表示		ON	ODO		押す	TRIP
			TRIP		押す	ϕ (Km/l)
			ϕ (Km/l)		押す	ODO
トリップメーターの リセット方法		ON	TRIP		3秒長押し	Reset TRIP
高度計		ON	altitude			エンジン停止時のみ表示します
オイルインジケーターリセット (ODO or Trip画面で行う)		ON	点灯	3秒長押し		点滅
			点滅		3秒長押し	消灯
上記リセット途中でのキャンセル 方法(点滅状態からのみ)		ON	点滅	押す		点灯

モード \ 機能		key	表示	SEL.	ADJ.	結果
時計合わせ		ON	時間表示点滅		押す	押すと数値が増加します
		ON	時間表示点滅	押す		分表示点滅
		ON	分表示点滅		押す	押すと数値が増加します
		ON	分表示点滅	押す		コントラスト調整画面
液晶画面の コントラスト調整		ON	表示点滅		押す	押すと数値が増加します
		ON	表示点滅	押す		メインメニューに戻る
高度計のセッティング		ON	高度・気圧表示点滅		押す	押すと数値が増加します
		ON		押す		表示切替
パワーテスト 0~100km/h		ON	到達時間 (0~100km/h)		押す	リセット
		ON		押す		スタート
パワーテスト 0~400m		ON	到達時間 (0~400 m)		押す	リセット
		ON		押す		スタート

● ページックモート



SEL.

SEI

SET.

SEL.

SEL.

ODO・TRIP

ADJボタンを押す度にODO→TRIP→Fuel consumptionに切り替わる。

TRIPの表示中にADJボタンの長押しで数値のリセットができる、Fuel consumptionも同じリセット方法です。

ODOの状態からADJボタンを長押しするとkm/hとmile/hの切り替えが出来て速度表示画面にも反映されます。

SEL

EMSチェック画面

EMS OK! システムに異常無し。
DTGx システムに異常を感じた状態

DTCx システムに異常を感知した状態

SEL 長押しでサブメニューに移行し、
異常の確認と消去が可能です。

高度計
(エンジン停止時のみ表示)

(エンジン停止時のみ表示)

バッテリー電圧
表示画面

表示画面

サブメニュー画面

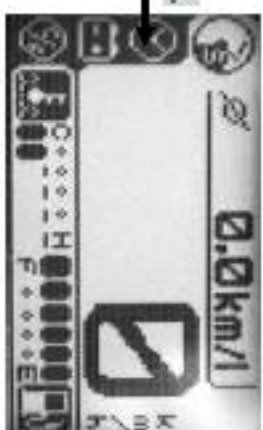
ODO/
TRIP/
FUEL
CONSUMPTION



ADJ.



ADJ.



ADJ. →
戻る

ENGINE
CHECK/
DTC/
ECU INFO/
MAINTEN.



SEL.
3秒長押し



SEL.



SEL.

検知したエラー数



SEL.
3秒長押し



エラーコードを表示

原因を解消
した後

ADJ.
6秒長押し



この操作を
行ってください。

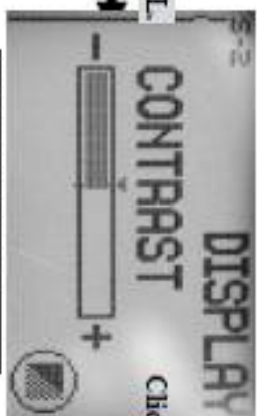
- 設定画面 (設定画面の終了は操作完了後10秒以上操作しないと自動的にベーンツクモードに戻ります。)



SELとADJを同時に3秒以上長押しすると設定画面に移行します。



左の画面からこの画面に自動で切り替わります。
時計あわせ画面です。SELを押すと調整したい“時”と“分”を切り替え出来ます。選んだ方の文字が点滅しているときADJを押すと数字を変える事が出来ます。



コントラスト調整画面
文字の色の濃さを調整できます。ADJボタンで調整します。



気圧計・標高計数値調整画面
SELボタンで選択し
ADJボタンで数値を変更します。

- パワーテストモード



Click SEL



SELボタンで選択します
SELボタンの長押しでベーンツクメニューに戻ります。



ADJとSELを同時に押すとテストモードに移行します。
この画面が表示されたらSELボタンを押して右画面に移行します。

0~100 km/hテスト
車両が動き出すとテスト開始します。
ADJボタンでリセットします。

0~400mテスト
車両が動き出すとテスト開始します。
ADJボタンでリセットします。

ハンドルスイッチ操作方法

1. HI/LO ビームスイッチ

“HI” HI・・・ハイビームがオンの状態です。

“LO” LO・・・ロービームがオンの状態です。

スイッチがLO側にあるとき、さらに下向きにスイッチを押すとパッシングさせることができます。

2. ターンシグナルスイッチ

ウインカーを出したい方向へスイッチを押し込むとウインカーを作動させることが出来、戻すときは中立の位置で真ん中のボタンを押すとキャンセルできます。

3. ホーンスイッチ

スイッチを押すことにより、ホーンを鳴らすことができます。

4. パーキングスイッチ

全てのウインカーランプを同時に点滅させるスイッチです。

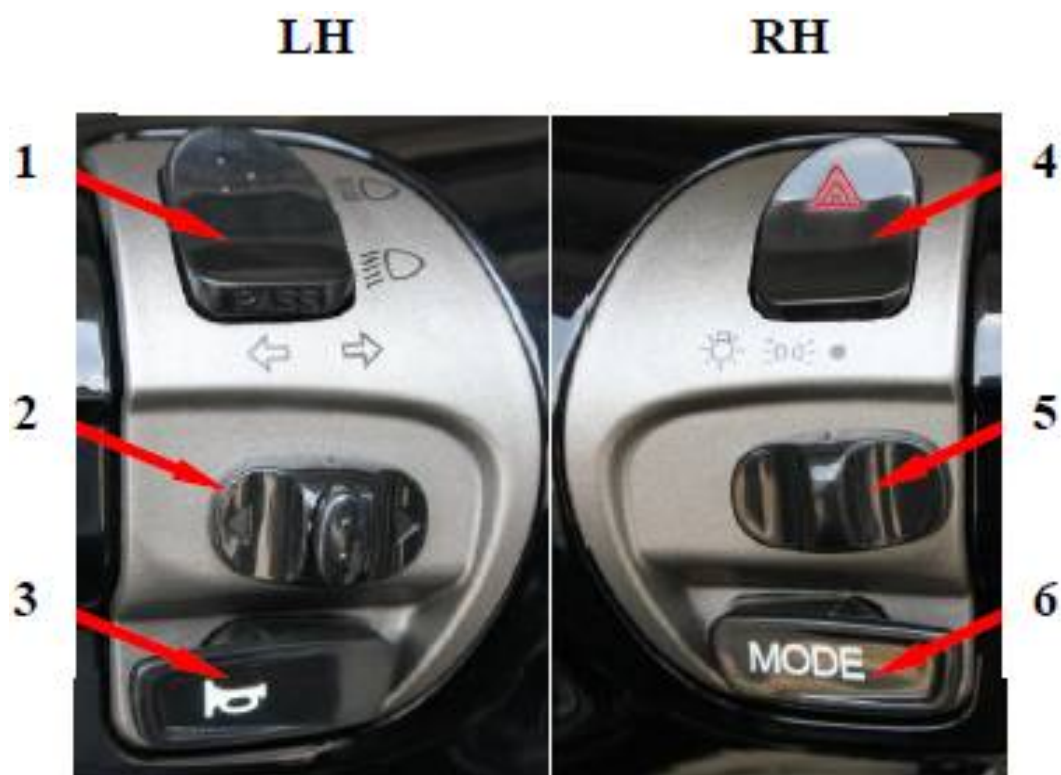
5. ヘッドライトスイッチ

ヘッドライトを OFF⇄ポジション⇄ON に切り替えるスイッチです。

日本仕様はヘッドライト常時点灯の為作動しません。

6. スターターボタン

エンジン始動させるボタンです、単独では作動しません、左右どちらかもしくは両方のブレーキを握りながら押すとエンジンを始動します。



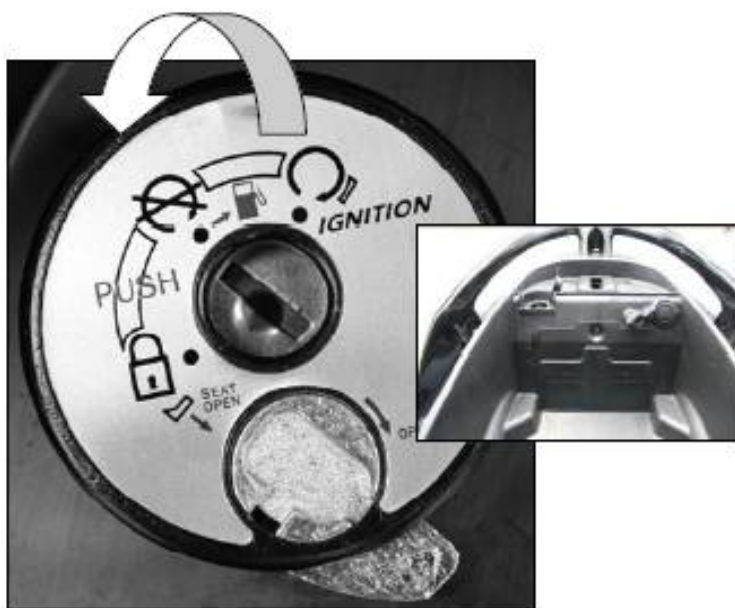
ハンドルロック

ハンドルロックを掛ける為には、まずハンドルを左に切り、次にキーを  の位置から  の位置に回す。もし回らない場合はハンドルを少し戻して行う。



シートロック

キーがどの位置からでも押しながら左にひねる事でシートを開けることができます。



フューエルタンクキャップ

- キーを  オフの位置から押しながら右にひねるとフューエルタンクキャップを開けることができます。
- 閉める時は、キャップを上から押し込んでください。



盗難防止スイッチ・12V 電源

シート内後方に盗難防止スイッチと12V電源が装備されています。

盗難防止スイッチはOマーク側で作動しエンジンが掛からない状態になります。

車両から離れる時はOマーク側にしてからシートを締めて離れましょう。

メインキーONの時、Oマーク側からーマークにした場合は3秒程待ってから始動して下さい。

<注意>

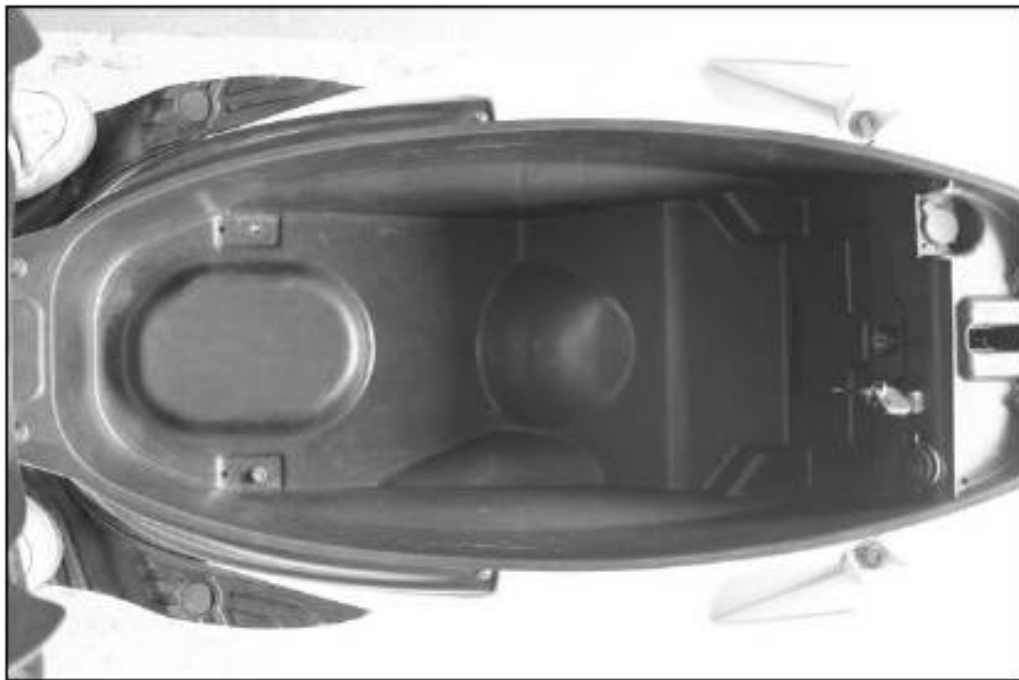
12V電源は1A未満までの消費電流でご使用下さい。

メインキーがONの状態でのみご使用頂けます、使用機器等を挿したままキーをONにすると突入電流が流れ通常使用時が1A未満の機器でもヒューズが切れる危険性がございますのでキーをONにする前には機器を外しておいて下さい。※いかなる使用状況においてもヒューズは消耗品のため保障対象には含まれませんので予めご了承下さい。



ラゲッジボックス

座席の下がラゲッジボックスになっています。



- ラゲッジボックス内の耐荷重は最大5 k g までです。
- 長時間エンジンが作動しているとラゲッジボックス内の温度が上がることがありますのでご注意ください。
- 壊れやすいものは入れないで下さい。
- 雨天や洗車などでボックス内に水が入る場合があります、防水性のある物で包むようにしてください。
- 車両から離れるときは必ずシートロックをご確認ください。
- ヘルメットはフルフェイスタイプも入りますがディフューザー等装備されているタイプでは入らない場合が御座います、無理に入れるとシートを閉めた際ヘルメットを破損する危険性も御座いますのでご注意ください。

※ヘルメット等を破損した場合、車両の保障では対応致しかねますので予めご了承下さい。

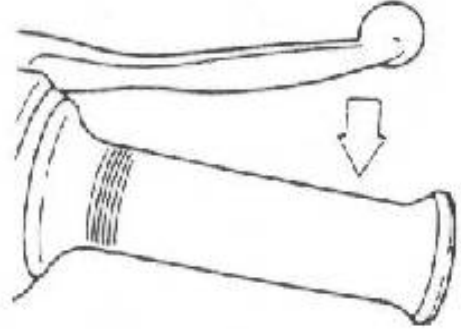
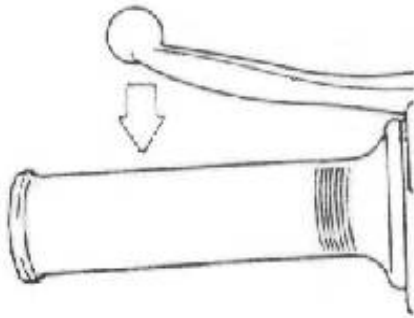
運行前点検項目

車両運行前に必ず以下の項目を点検下さい。

項目	点検内容	ページ
フロント・リヤ ブレーキ	作動、遊び、液量を点検し補充の場合は FMVSS DOT3(4) または SAEJ 1703 ブレーキオイルを補充してください。	16
スロットル グリップ	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	21
タイヤ	空気圧と磨耗状態を点検する。	20
ケーブル類	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	—
ブレーキレバー	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	16
センタースタンド	スムーズに作動するか点検し、必要であれば給油する。	—
各部組みつけ	各部取り付け状態を点検し、必要に応じて増し締めや調整 を行う。	—
燃料タンク	残量を点検し、必要なら補充する、漏れが無いか点検する。	21
灯火類	点灯確認を行い切れているものは交換する。	—
油脂類	オイルレベルゲージでエンジンオイルの量と汚れを点検し必要なら ば交換する。メーター内インジケーターも点検すること。 ギヤオイルも点検する。 クーラントの量を点検し、必要ならば補充すること。	17・18

ブレーキ

1. ブレーキレバーには適切な遊びが必要です、約10～20mm遊びがあることを確認し、少なすぎたり多すぎたりする場合は、最寄りのPGO取扱店で点検を受けてください。
2. ブレーキを数回掛け、離れた時にホイールが軽く回るか点検する。
回転が重い場合はブレーキパッドの戻りが悪い可能性がありますので、最寄りのPGO取扱店で点検を受けてください。



フロントブレーキ

ハンドルを持ちレバーを握り機能していることを確認してください。
作動時に違和感がある場合は速やかにPGO取扱店で点検を受けてください。

- * 運行前点検を怠ると何らかの不具合が生じる危険がありますので必ず点検を行い必要な修理、調整を毎日でも実行してください。

ブレーキフルード

ブレーキフルードの量はハンドルカバー横から覗き込むと点検窓により点検できます。

リザーバタンクを水平にしてから点検して下さい。

補充が必要な場合は FMVSS DOT3

または SAE J1703 の物を補充してください。

また、ブレーキホースやホース接続部分等に於いて液漏れを発見した場合は絶対に運行せず。

速やかにPGO取扱店で 点検・整備を受けてください。



ブレーキパッド

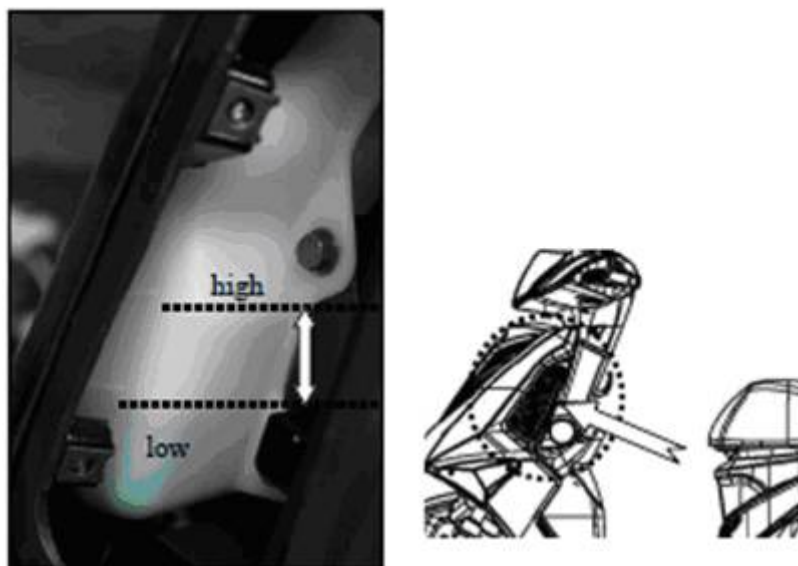
ブレーキフルードの減少及び握ったときの違和感はブレーキパッドが減ったことに起因する場合があります、速やかにPGO取扱店で点検を受けてください。

- * ブレーキパッド交換は有資格者に委託してください。

冷却水量点検

1. 冷却水量点検

乗車前に必ず冷却水の量を目視とメーター内インジケーターで確認して下さい。



2. 冷却水補充

冷却水量が **LOW** レベル以上で **HIGH** レベル以下に補充して下さい。

冷却水は指定の希釈濃度を守って下さい、通常 30%以上 55%以下が目安です。

冷却水は 2 年毎に新しい冷却水に交換して下さい。



エンジンオイル量点検

4T エンジン

- エンジンオイルは初回 3 0 0 k m で、その後 3 0 0 0 k m 毎に交換してください。
- レベルゲージを使用する場合、必ずエンジン停止状態で行ってください。
- オイルレベル点検は平坦な場所で暖気後 2 ～ 3 分経ってから行ってください。
- オイルは SAE10w 40 をお使い下さい。
- オイルレベルゲージのロワレベル以下にならないようオイルを補充して下さい。



HIGH

LOW

エアクリーナー

エアクリーナーは空気中の埃を取り除きエンジンの磨耗度合い軽減に重要な部品です。常に清潔であるようにあなた自身もしくは PGO 取扱店で定期的なメンテナンスを行ってください。



ペーパーフィルターエレメント

タイヤ

タイヤの性能を保持し磨耗を抑える為に以下の点に留意してください。

1. 空気圧

空気圧は基準値を守りましょう。

※ 空気圧の測定は走行前に行い、外気とタイヤ内空気の温度差が生じない状態で測定してください。また、外部からの圧力も正確な測定の妨げになります。

空気圧の基準値は 前輪： $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 後輪： $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ です。



空気圧が高い場合



空気圧が低い場合

2. 簡単な点検

乗車前にタイヤの外観を点検し過度の磨耗や釘など刺さっていた場合は、速やかに PGO 取扱店で点検・整備を受けてください。

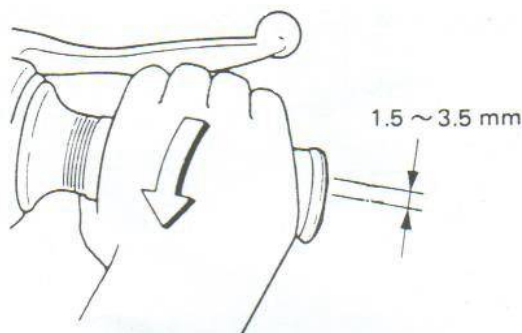
3. タイヤ溝の深さチェック

過度に磨耗したタイヤは大変危険です、溝の深さが十分ないと、泥や濡れた路面で顕著に滑ります。溝の深さを点検し 0.8mm 以下になったら速やかに交換しましょう。

スロットルグリップ

- スロットルグリップを操作し遊び量と作動状態を確認して下さい。
- 手を離れた時、速やかに元の位置へ戻るか確認して下さい。

調整方法は PGO 取扱店へお問い合わせ頂くか依頼して下さい。



灯火類

スイッチを操作し、すべてのランプ、バルブ、インジケーターが作動することを確認して下さい。

スイッチ類

スイッチを操作し、作動を確認して下さい。

燃料

燃料が十分にあるか確認して下さい。

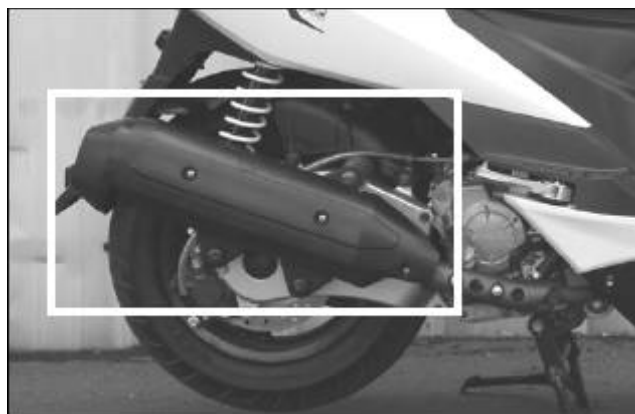
タンク容量は 6.8 L です。

※ 注意！

1. 燃料は無鉛ガソリンを使用して下さい。
2. 給油口の細くなっている部分までガソリンを満たさないで下さい、あふれてしまう危険性が有ります。

触媒

触媒は排気ガス中の有害物質を低減させる為の装置で、排気管内に設置されています。



1. 走行直後のマフラーは高温になり危険です、駐車する時は周りに燃えやすいものが無い事を確認し、なるべく歩行者などから遠ざけて駐車してください。
2. 燃料は必ず無鉛のガソリンを給油してください。
3. 走行中や空ぶかし直後にメインスイッチをオフにしないで下さい、未燃焼ガスが触媒を過度に加熱させ機能低下に繋がります。
4. 燃えやすい物の上での走行、駐停車はしないで下さい。
5. 常に良好なエンジン状態を保ち、異常燃焼で触媒を過度に熱を持たせないようにしてください。
6. 触媒が正常な作動を続ける為に、定期点検を心掛けてください。

乗車する際の注意事項

1. 乗車する前にすべての操作システム及び機能を把握してください。又、何らかの問題がある場合は PGO 取扱店にご相談下さい。
2. 締め切った場所でエンジンを掛けないで下さい。
3. 乗車前にサイドスタンドを必ず確認して下さい、サイドスタンドを出したまま走行すると大変危険です。 22

エンジン始動

1. エンジン RUN/OFF スイッチが RUN の位置にあることを確認し、メインキーを"○"の位置まで回してください。
2. EMS チェックランプが消えるのを確認後、スロットルグリップ全閉状態でブレーキレバーを握り、スタートボタンを 5 秒以内に押して下さい。



※ 注意！

エンジンが掛からない時でも、連続して 5 秒以上スタートボタンを押し続けしないで下さい、電気系統に過大な負荷が掛かり故障の原因になります。

暖機運転

エンジン保護の為に運行前に 1 ～ 3 分程度アイドリングをしてエンジンを暖機して下さい。始動直後で暖まらないうちに負荷を掛けないようにして下さい。

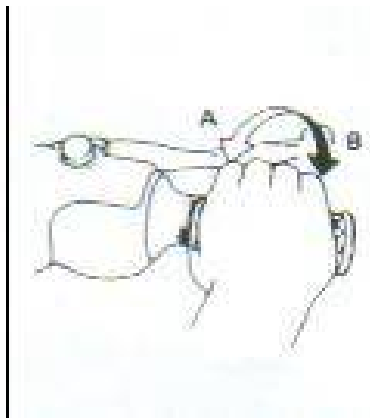
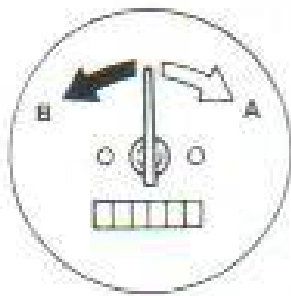
☆ 新車購入直後の場合は“P25 エンジンの慣らし運転”のページをよく読み、まず慣らし運転を行って下さい。

スクーターに乗るにあたって（暖機終了後）

1. リヤブレーキを握ったままセンタースタンドを上げてください。
2. 正しい乗車姿勢でシートに座り、バックミラーを調節してください。
3. 周りの交通状況を確認後、発車の合図を出してから発車しましょう。
4. ゆっくりスロットルグリップを操作し、発車出来たら合図を戻しましょう。

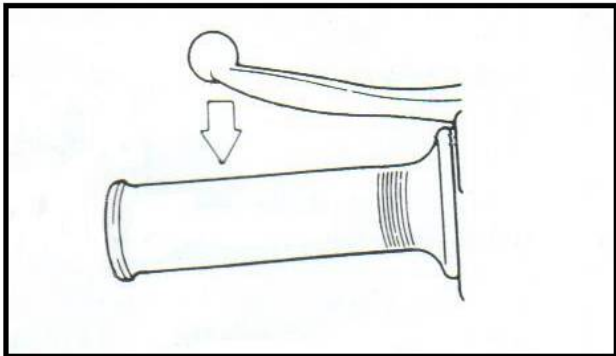
スロットル操作

スロットルグリップを手前に捻ると増速し、戻すと減速します。スムーズな操作を心掛けましょう。

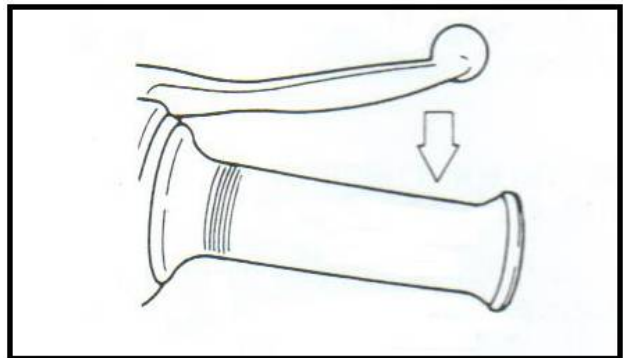


ブレーキ操作

1. スロットルグリップを戻して下さい。
2. 前後ブレーキをゆっくり握って下さい。



リヤブレーキ



フロントブレーキ

※ 注意！

1. 滑ったり、転ぶ恐れがあるので急ブレーキは避けて下さい。
2. 車体が傾いている時は特に注意して操作しましょう、不用意な操作は転倒等の原因になります。
3. 未舗装路やマンホール、濡れた路面等は滑りやすい為スピードを落としてください。
4. 濡れた路面や下り坂ではブレーキが効きづらくなります、余裕を持って減速して下さい。

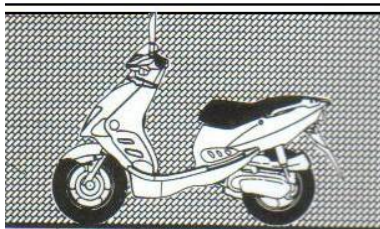
エンジンの慣らし運転

新車から 1,000 k m まではスクーターの寿命に一番影響する時です、1,000 k m を超えるまでは過大な負担を避け、出力の半分程度で走行しましょう。

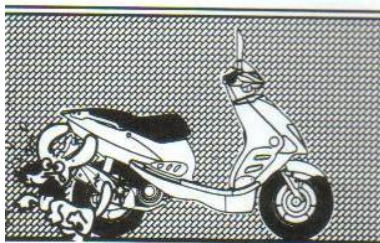
エンジン各部が適切なクリアランスを確保出来るように、過大な負担や急激な動作は避けましょう。

1. 0 ～ 1 5 0 k m スロットル開度は 1 / 2 以下にして下さい。1 時間に 5 ～ 1 0 分程度エンジンを冷やすようにし同じ速度を長時間保持しないで、速度を変えながら走行します。
2. 1 5 0 ～ 5 0 0 k m 長時間スロットル開度 1 / 2 以上で保持しないで下さい。
※ 3 0 0 k m で一度エンジンとギヤのオイルを交換して下さい。
3. 5 0 0 ～ 1,000 k m スロットル開度 3 / 4 以下にして下さい。
4. 1,000 k m 以上 長時間全開で走行しないようにして下さい。
※ 注意！ 慣らし運転中に何か問題が起きた場合、PGO 取扱店にご相談下さい。

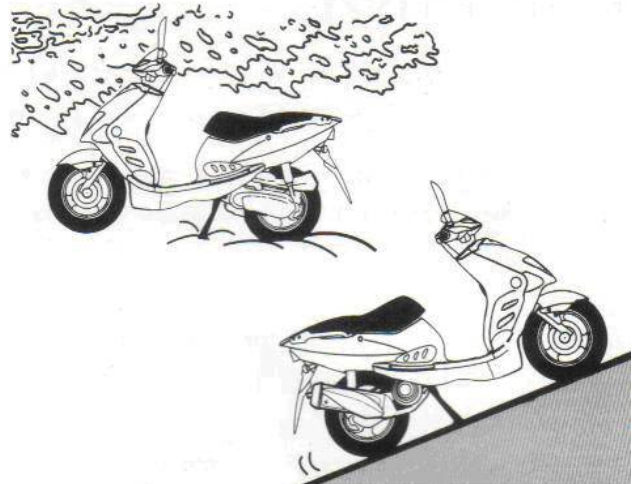
駐車



正しい止め方



誤った止め方



誤った止め方

※ 注意！ 走行直後はマフラーが非常に熱くなっている為、子供や歩行者から出来るだけ離して駐車して下さい。

坂道や地盤が不安定な場所は転倒する危険性がある為駐車しないで下さい。

定期点検

性能を維持し安全に運転をする為に、定期点検を励行し定められた期間に点検、調整潤滑油の補充・交換を行って下さい。

安全運転は運転者の義務です、メンテナンスと油脂類の補充は常に意識し、偶発的な事故以外の重要な予防措置と認識ください。

＊注意！ 舗装路の走行を目的にデザインされていますので、悪路や濡れた

路面を走行する時は、エンジンの消耗が早まるのでエアクリナーを頻繁に掃除して下さい。

点検や整備についてご不明な点がある時は、PGO 取扱店へお尋ね下さい。

定期点検スケジュール

項目	内容	定期点検と走行距離による点検						
定期点検月		1	3	6	9	1 2	1 5	1 8
走行距離		300	3000	5000	8000	10000	13000	15000
エンジンオイル*	交換（800cc） 全容量（1000cc）	○	3000 k m毎に交換。					
オイルフィルタ	交換	○	5000 k m毎に交換					
オイル ストレーナー*	清掃又は交換	○	3000 k m毎に清掃又は交換					
エアクリナー	清掃又は交換		○	○	○	○	○	○
ギヤオイル*	交換（90cc） 全容量（110cc）	○	○		○		○	
ブレーキ	作動と液漏れ点検		○	○	○	○	○	○
クラッチシュー*	点検又は交換		○	○	○	○	○	○
タイヤ	磨耗点検又は交換		○	○	○	○	○	○
車軸*	点検・増し締め		○	○	○	○	○	○
F フォーク*	機構及び液漏れ点検	○	○	○	○	○	○	○
ステムベアリン*	ガタ点検・増し締め			○		○		○

“*” マークの項目は PGO 取扱店にて点検・整備を依頼して下さい。

項目	内容	定期点検と走行距離による点検						
定期点検月		1	3	6	9	1 2	1 5	1 8
走行距離		300	3000	5000	8000	10000	13000	15000
サスペンション*	作動と液漏れ点検	○	○		○		○	
メイン・サイド スタンド	作動点検又は交換	○	○	○	○	○	○	○
各ボルトナット	緩み点検・増し締め	○	○	○	○	○	○	○
バッテリー	電圧点検・電極清掃		○	○	○	○	○	○
バルブ クリアランス*	冷間時に測定する IN・EX 共 0.08mm	必要であれば調整する。						
スパークプラグ*	清掃又は交換			○		○		○
V ベルト*	磨耗点検又は交換			○	A	○	A	○
フュエルフィーデ ィングシステム*	ホースのヒビとブ ロックの点検			○		○		○
アイドル回転数*	1700±100rpm	○	○	○	○	○	○	○

“*” マークの項目は PGO 取扱店にて点検・整備を依頼して下さい。

“A” マークの項目はエンジン性能が著しく低下している場合、点検又は交換して下さい。

※ エンジン保護の為に 300 k m 走行時のエンジンオイル・オイルフィルター・オイルストレーナー清掃・ギヤオイル交換を行って下さい。

※ ブレーキフルード交換

1. マスターシリンダー分解や、キャリパー分解時には新しいフルードを補充してください
2. 油量はこまめに点検して下さい。
3. マスターシリンダーとキャリパーのオイルシールは 2 年毎に交換して下さい。
4. ブレーキホースは 4 年毎に交換して下さい。

エキゾーストコントロールシステムのメンテナンス（触媒装着車）

1. 触媒は、燃料・イグニッション・インテーク／エキゾーストシステムを定期的にメンテナンスすることによって、触媒のメンテナンスとなります。
2. エアクリナーを点検（29ページ参照）
3. スパークプラグの点検（29ページ参照）
4. 燃料システムの点検： フューエルパイプのひび、漏れの点検又は交換。
5. マフラー点検： 排気漏れを点検、必要ならばガスケット交換。
6. アイドリング点検

エアクリナー



4T エンジン

エアクリナー点検時にエアクリナーボックス内に多くホコリの蓄積が認められるような場合はエンジン出力の低下と燃料消費増大に原因があると考えられます、こまめに点検、清掃を行いましょう。

1. エアクリナーカバーを外す。
2. エアクリナーエレメントを外す。
3. 圧縮空気で汚れを吹き飛ばして清掃し、必要ならば交換する。
4. エアクリナーエレメントを元の位置に戻し、カバーを隙間が開かないように気を付けて取り付ける。

※ 注意！ エアクリナー分解中にエンジンを掛けしないで下さい、ホコリ等がエンジンに吸い込まれ内部を傷付ける恐れがあります。

プラグの点検

スパークプラグはエンジンの重要な部品のひとつです。プラグの状態でエンジンの燃焼状態を知ることが出来ます、プラグの焼け色が薄茶色であればエンジンが良好な燃焼状態であることを表します。もし問題があれば PGO 取扱店にご相談下さい。

時間の経過と共に熱やホコリで腐食したり焼け焦げたりするので、ある一定期間で新しい物と交換して下さい。

純正指定プラグ： CR7E (NGK) プラグキャップ 0.6～0.7mm

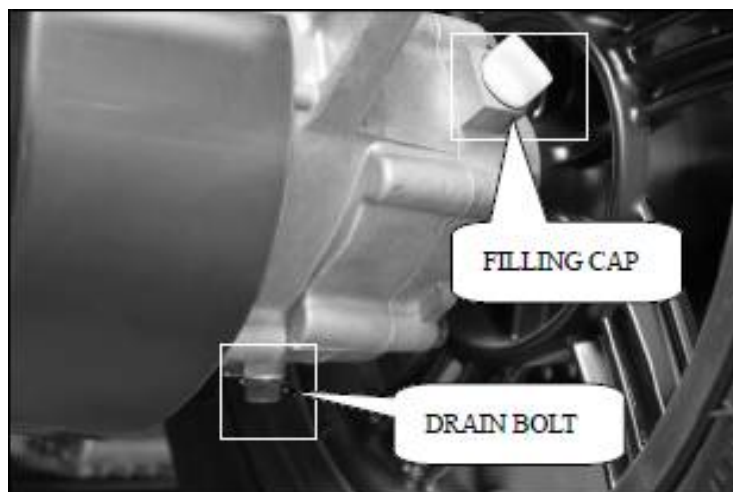
点検後は取り付ける前にねじ部とワッシャー部をきれいにしてから取り付けてください。

締め付けトルク： 1.2kg-m

もしトルクレンチが無い時は、手で回るところまでねじ込み、そこから1/4～1/2回転締め付け、後ほどトルクレンチで指定トルクで締め付けを行って下さい。

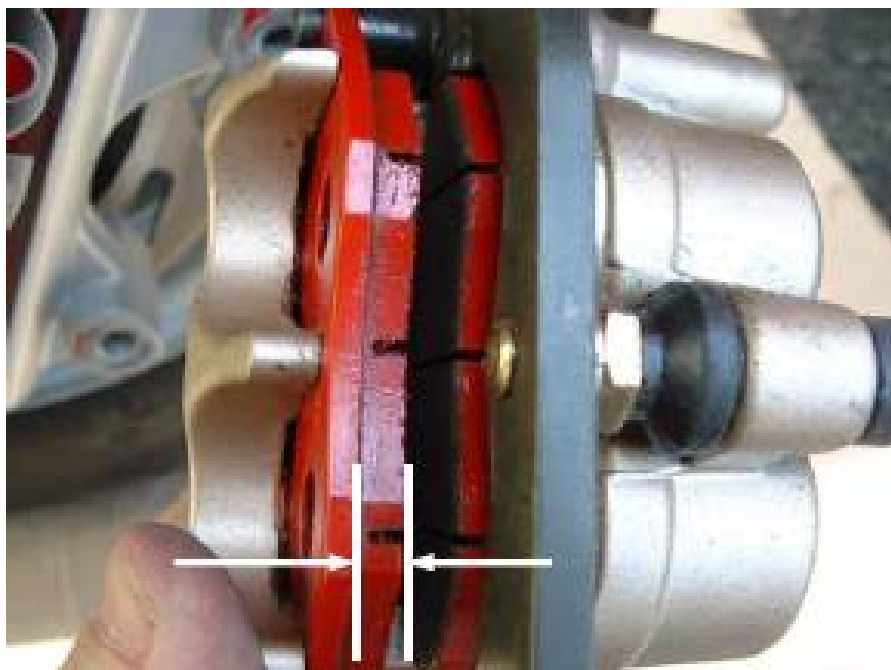
ギヤオイル交換

- 初回は 300 k m で、その後は 5000 k m ～ 6000 k m ごとに交換して下さい。
- 交換時容量：90 c c SAE140 全容量：110 c c



フロントブレーキ点検

フロントブレーキパッドの残量はパッドの溝の深さを見る事により点検することができます。パッドにある溝が無くなった時が使用限度です。



※ リヤブレーキも同様に点検を行って下さい。

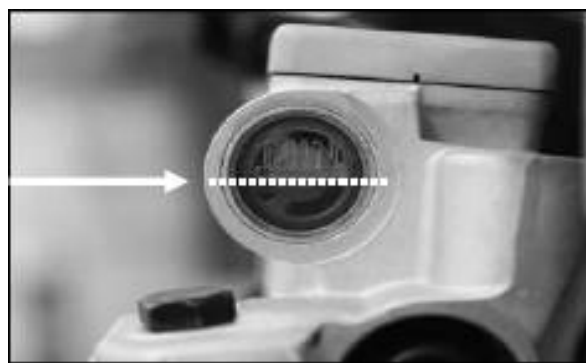
ブレーキフルード点検

リザーバタンク内のフルード液量が少ないとブレーキ液に空気が入る原因になります。ブレーキ液に空気が混入すると油圧が伝わりにくくなり制動力が著しく低下し危険です、こまめに液量を点検して下さい。

1. 液量点検時はリザーバタンクが水平になるようにハンドルを切ってください。
2. ブレーキフルードは必ず指定の規格品を使用して下さい、それ以外の使用はシール類を痛め液漏れの原因になります。

純正指定規格： FMVSS DOT3 or SAE J1703

3. 補充するフルードは同じ種類の物を使用してください、混ぜる事は避けてください。
4. マスターシリンダー内に水が入らないようご注意下さい、水が混ざるとフルードの沸点が下がり、フルード内に気泡を生じさせ大変危険です。
5. フルードは塗装面を侵食します、こぼしてしまった時は直ちに拭き取り水拭きして下さい。
6. ブレーキの整備は資格を持つ整備士に依頼して下さい。



フロントフォーク点検

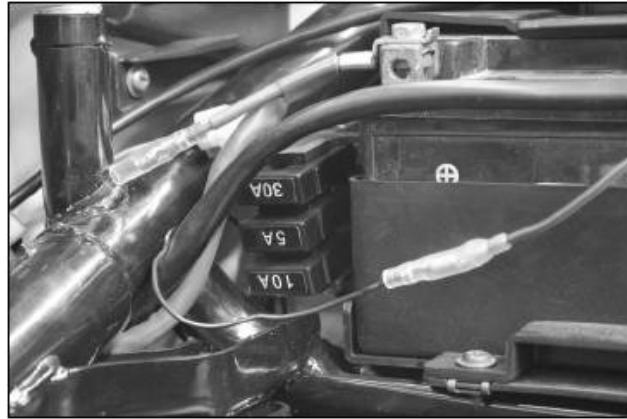
※ 注意！ アクシデント回避の為に、日常点検を励行して下さい。

1. 目視による点検
インナーパイプの傷、損傷、オイル漏れを点検する。
2. 作動点検
車輛を平坦な場所でハンドルを持ちフロントブレーキを掛けたまま前後にゆすり、フォークの作動を点検する。



ヒューズ

1. ヒューズはシート下のラゲッジボックス後ろのカバー内にバッテリー等と一緒に収納されています。
2. シートを開け、カバーを外して下さい、バッテリーの側面に取り付けてあります。
3. ヒューズが断線している場合はメインスイッチを **OFF** にして、ヒューズが切れた原因を解消してからヒューズを交換して下さい。もしヒューズ交換後メインスイッチをオンにして再びヒューズが断線する場合は PGO 取扱店にご相談ください。



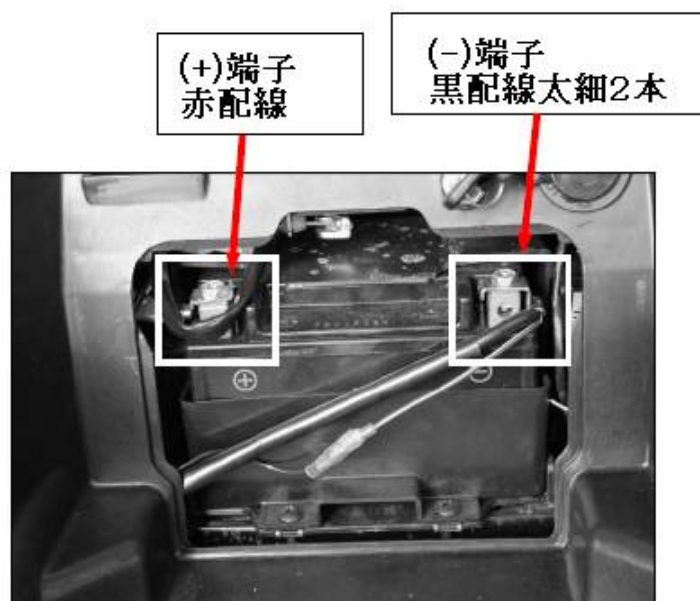
※マイナス端子側側面にラゲッジボックス内 12V 電源用 1A ヒューズがあります。

※ 注意！ ヒューズの定格アンペアより大きいアンペアのヒューズを使用しないで下さい。
定格アンペア以上のヒューズを使うと配線に強いダメージを与え、発火の原因となり大変危険です、正しいヒューズをお取り付け下さい。

バッテリー

バッテリーはメンテナンスフリータイプなので液量の点検及び補充は必要ありません。
万一バッテリー液が漏れている場合は、至急使用を中止して PGO 取扱店にご相談下さい。

※ 注意！
バッテリーのシール（ふた）を取る事は絶対にしないで下さい、バッテリーを損傷させる恐れがあります。

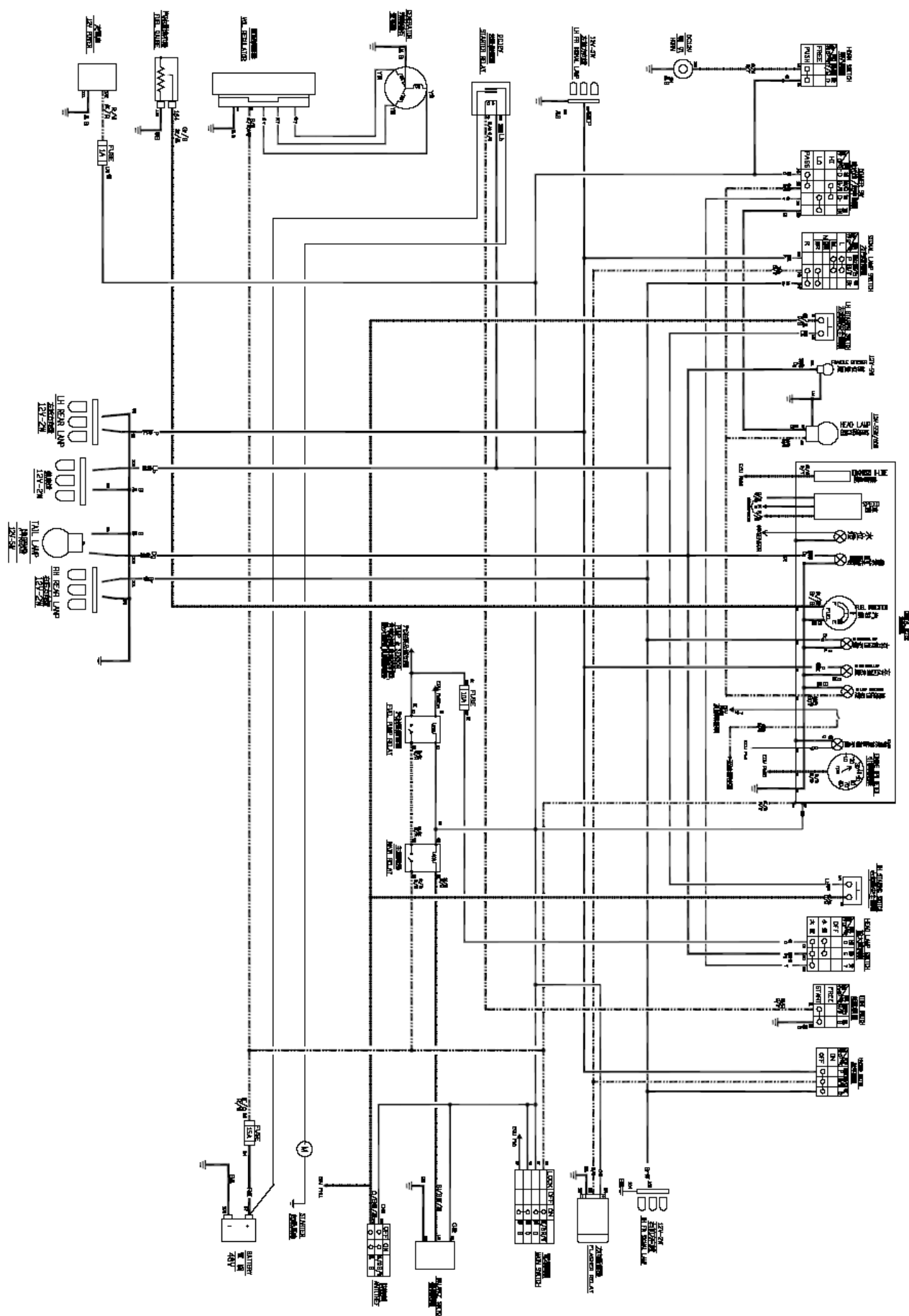


A F - 1 2 5 B A E 主要諸元							
車名			P G O		フレーム		スチールチューブ
形式			AF-125BAE		サスペンション	フロント	テレスコピック
外形寸法	全長		1865 mm			リヤ	ユニアブソーバー
	全幅		710 mm		トランスミッション	1 次減速	0.8~2.34
	全高		1140 mm			2 次減速	43/15*42/13
	車軸間距離		1300 mm			クラッチ	遠心クラッチ
重量	車体重量	前輪	45 kg			タイヤ	変速機
		後輪	83 kg		前輪		110/70-12
		合計	128 kg		後輪	130/70-12	
	乗車人員		2 (150KG)		ブレーキ	前輪	ディスク
	総重量	前輪	95 kg			後輪	ディスク
		後輪	177 kg		スピードメーター		デジタル式
		合計	272 kg		灯火類	ヘッドランプ	12V-60W/55W
	ギヤオイル	SAE 粘度		SAE140		リヤランプ / ナンバー灯	12V-0.4W/12V-5W
交換容量		90cc		ブレーキランプ (LED)		12V-2W	
全容量		110cc		ウinkerランプ (LED)		12V-2W/12V-2W	
ENGINE	型式		A1		ホーン		DC 12V
	燃料		無鉛ガソリン		マフラー		触媒式
	サイクル/冷却方式		4 ストローク/ 水冷式		排気	粒顆物質	15 %未満
	シリンダー	ボア	φ 52.4 mm			CO	3.0%未満
		ストローク	57.8 mm			HC	1600 ppm 以下
		気筒数	単気筒			排気方式	
	排気量		124.6 c.c.		潤滑方式		圧送飛沫式
	圧縮比		11 : 1		ブローバイ還元装置		採用
	最高出力		9.9kW/8750rpm		E.E.C.方式		採用
	最大トルク		11.2N-m/7500rpm		触媒		装備
	エンジン様式		ホリゾンタル		FUEL TANK	CAPACITY	6.8 L
	点火方式		CDI/DIODE				
	始動方式		セルフスタート		バッテリー		Y T X 7 A - B S

定期点検記録簿

計画 Km	実行 Km	日付	販売店サイン
3 0 0			
1, 0 0 0			
2, 0 0 0			
3, 0 0 0			
4, 0 0 0			
5, 0 0 0			
6, 0 0 0			
7, 0 0 0			
8, 0 0 0			
9, 0 0 0			
1 0, 0 0 0			
1 1, 0 0 0			
1 2, 0 0 0			
1 3, 0 0 0			
1 4, 0 0 0			
1 5, 0 0 0			
1 6, 0 0 0			
1 7, 0 0 0			
1 8, 0 0 0			
1 9, 0 0 0			
2 0, 0 0 0			
2 1, 0 0 0			
2 2, 0 0 0			
2 3, 0 0 0			
2 4, 0 0 0			
2 5, 0 0 0			

配線図



保 証 書

お買上げ頂いたお車を構成する各部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、下記の保証修理を致します。

一. 保証範囲：

1. 保証内容 お車を取扱説明書に従った整備をおこない正常に使われている上で万一、部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、無料修理いたします。（保証修理は部品の交換もあります）（以下この無料修理を保証修理といいます）。 尚、取外した部品は弊社の所有となります。
2. 保証期間 新車を登録または届出した日から 1 年間もしくは走行距離 15,000 km までのいずれか早い方までが保証期間となります。
3. 保証対象 PGO 日本代理店：（有）ナーベルフォースが販売する PGO ブランドスクーターで、販売店が（有）ナーベルフォースにユーザー登録を行っている車両。

二. 保証修理の受け方：

保証修理をお受けになる場合は、お車とこの保証書をお買上げの販売店へお持ち下さい。これにより保証修理を致します。※提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。

各販売店様は販売後速やかにユーザー登録を PGO 日本代理店：（有）ナーベルフォースにして下さい。

三. 保証できない事項：

1. 次に示す事項は保証修理いたしません。
 - (1) 時の経過で発生する不具合（塗装面等の自然退色、メッキ面などのさび、消耗品の劣化等）
 - (2) 機能上影響のない感覚的現象（音、振動、オイルのにじみなど）
 - (3) 地震・台風・水害等の天災・事故・火災に起因する不具合
 - (4) 純正部品及び指定する油脂類（オイル・ブレーキ液・冷却液等）以外の使用に起因する不具合。
 - (5) 煤煙・薬品・鳥糞・塩害等に起因する不具合
 - (6) レース・ラリーなどによる酷使或は一般に車輛が走行しない場所での走行に起因する不具合。
 - (7) 法令に違反する改造及び弊社の認めていない改造に起因する不具合
 - (8) 盗難にあったお車
 - (9) 無免許運転に起因する不具合
 - (10) 保管又は整備不良に起因する人為的な不具合
2. 次に示す費用は負担いたしません
 - (1) 消耗部品の費用（ライト類・ゴム類・ワイヤー類・ネジ類・ピストン・スパークプラグ・ワッシャー類・ブレーキパット・ブレーキライニング・V型ベルト・ヒューズ・など）
 - (2) 油脂類・燃料・バッテリー液などの交換補充の費用
 - (3) お車を使用出来なかった事による不便さ及び損失など（電話代・レンタカー代・休業補償・営業損失等）
 - (4) 車輛修理に伴うレッカー代
 - (5) PGO 純正部品であっても本来使われている部品以外の転用も改造になり補償対象から外れます

四. 保証修理をお受けできない事項

1. 法令及び取扱説明書に示す取扱方法と異なる使用方法及び弊社が示す仕様の限度（最大積載量・乗車定員）をこえて使用した場合
2. 下記の点検整備を実施していなかった場合
 - (1) 乗車前の点検
 - (2) 弊社の指定する定期点検
3. 定期点検整備記録簿を保持していなかった場合
 - (1) 定期点検整備記録簿を大事に保管してください

五. 保証の発効

この保証書は、お買上げ頂いた正規販売店が保証登録書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

六. 保証の継承

保証期間が残っているお車をお買上げの際は、ご購入後、直ちに正規販売店へお車と保証書をお持ちになり、名義の書換え、必要な点検（有料）と必要事項の記入、捺印をお受け下さい。これにより残りの期間を保証いたします。

七. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売し使用されることを前提としております。従って海外へ持出す場合は、その時点で保証が打切りとなりますのでご注意ください。

- ＊ この保証書は、本書に明示された期間と条件をもとに無料保証をお約束するものです。この範疇を超えたものに関しては、原則として有償となります。

PGO SCOOTER 日本代理店
有限会社 ナーベルフォース
お問合せ先：
埼玉県戸田市美女木 7-15-6
TEL：048-449-0021 FAX：048-449-0022